

令和4年度 市政執行方針より

第1回石狩市議会定例会で表明した市政運営の基本的な考え方を具体的施策とともに紹介します。

コロナ禍の現状と、本市の対策

新型コロナウイルスの感染が確認されてから2年が経ちました。昨年8月に厚生労働省が発表した雇用動向調査によると、令和2年は労働者全体に占める離職者の割合が、新たに就職した入職者の割合を9年ぶりに上回り、特にパート労働者や女性、宿泊・飲食サービス業で入職率の低下幅が大きくなるなど、コロナ禍での働きづらさが浮き彫りになりました。

本市では、そうした社会経済不安に寄り添い、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、時機を逸することなく数次にわたって補正予算を編成しました。飲食店などへの感染防止対策支援事業や生活困窮者家計改善支援事業、ひとり親世帯地元食料支給事業、就労支援マッチング事業など切れ目なく対策を講じてきたところです。

私たちの生活様式は、新型コロナウイルスの世界的流行により一変しました。この大転換期に求められるのは、コロナ前の価値観や思考・ルールを見直すこと。持続可能で豊かな社会をいかに実現するかを考え、行動に移すことです。



加藤龍幸市長

具体的 施策

力強い経済活動

- 地域の消費を喚起・下支えするため、一昨年に続き**プレミアム付商品券**を発行します
- 業績が悪化する市内事業者への**資金繰り支援**として、中小企業特別融資に対する利子補助率の引き上げを継続します
- 「スマートフォンが観光案内所」となる**デジタルマップ**を新たに整備します。位置情報と連動したナビゲーション機能に加え、既存の観光コンテンツと有機的に連携させ、観光情報へのアクセス性をアップすることで、札幌圏はもとより国内外の観光需要を取り込みます
- 新型コロナウイルス感染症に対応するため、新しい生活様式の居住環境を整備する市民に対し、**住宅のリフォーム**などにかかる経費の一部を支援します
- 居住環境を向上し、人口誘導につなげるため、**空き家の再販**を行う事業者に対し除却や改修にかかる経費の一部を補助します

具体的 施策

子育て・子育てを 地域全体で見守り支える 環境づくり

- 医療的ケア児**を受け入れる認定こども園などに、技能・経験を有した看護師を配置し、子どもと家族が地域で安心して生活できる支援体制を整備します
- 10月にオープンする**ふれあいの杜子ども館**が、子育て世代の期待に応えられるよう準備を進めます
- 視力の発達を妨げる原因となる強い遠視・乱視・近視の早期発見・治療につなげるため、3歳児健康診査に新たに**屈折検査機器**を導入します
- 小児医療体制の維持を図るため、樽川地区に開院予定の**小児科医院**を市としても積極的にサポートします
- 浜益区の教育環境**の維持・改善を図るため、浜益中学校敷地内に浜益小学校・はまます保育園を移転する基本設計に着手します



ふれあいの杜子ども館(イメージ)



浜益中学校

カウンター



Wi-Fiを導入している市民図書館

具体的
施策地域課題の解決に向けた
デジタル化の推進

- 本年度を**石狩市DX※1元年**と位置づけ、市民の利便性向上と業務の効率化を目指し、市役所窓口にかかる手数料などにキャッシュレス決済を導入します
- 粗大ごみの回収などで**オンライン決済**ができるよう検討します
- コミセンなど市内公共施設への**Wi-Fi導入**を進め、市民のデジタル通信環境の向上と災害時でも利用できる環境を整備します
- 自治体BPR※2**を実施し、行政事務の改善・効率化に向けて取り組みます
- 市民と市役所をつなぐ**オンラインの行政手続き基盤**の構築を加速させます

※1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)とはICT(情報通信技術)を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

※2 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)とは企業活動をプロセスとして分析・理解・再構築して利益を最大化する活動

具体的
施策

脱炭素社会に向けた新たな地域価値の創造

- 市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする**ゼロカーボンシティ**を2020年に表明しました。道路照明のLED化を進め、施設管理費の軽減とともに、環境に配慮した施設の整備・管理・更新をすることで公共インフラと地球環境との調和を目指します
- 温室効果ガスを排出しない**再生可能エネルギー**の導入ポテンシャルが非常に高いことに着目し、民間企業や団体などとの連携による事業化を国内のトップランナーとして積極的に推進。地域内での資金循環を実現し、新たな地域活力の創造に取り組みます
- 漁業との共生が図られるよう、**洋上風力発電**の導入に向けた議論を行う協議会を設立。引き続き洋上風力発電の導入を先行的に進める有望区域の選定を目指して取り組みます
- 石狩湾新港地域**のポテンシャルを最大限に活用し、風力発電の関連産業の集積に向けた検討を進めるとともに、域内の電力需要を100%再生可能エネルギーで供給することを目指す区域**REゾーン**の具現化に向け、新たな産業の創造を目指します



市役所に設置している太陽光パネル

未曾有の危機に直面した今こそ
持続可能なまちづくりを

平成28年に閣議で決定された
Society5.0は、私たちが今後目指す
べき社会を具現化したものです。革新
技術を最大限に活用し、経済発展と社
会的課題解決の両立を図るもので、新
型コロナウイルスによる未曾有の危機
に直面している今こそ、SDGs(持続
可能な開発目標)やSociety5.0の
意義を再認識して、より良い復興
(Build Back Better)へとつなげな
ければなりません。

また、本年度の地方財政対策におい
ては、国税収入の増加見込みにより地
方交付税を増額する一方、臨時財政対
策債の発生が抑制されました。そうし
た質的改善を図りつつ、地方公共団体
の行政サービス水準を維持する財源確
保への方策が講じられたところです。

本市の市税収入は、引き続き堅調な
推移が見込まれ、本年度には過去最高
額を計上し、一般会計の当初予算も平
成17年の合併後、最大規模となります。
こうした追い風を背景に、本市では
各行政分野における課題の的確な対
応と、新しい時代に適応した持続可能
なまちづくりを力強く進めます。

※SDGs(Sustainable Development Goals)は、2030年までの国際的な開発目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。